



三条南ロータリークラブ週報

2019-2020 クラブテーマ

Sanjo Minami Rotary Club

地元を知り 地元への奉仕で ロータリー活動を示そう



2020. 2. 17

平和構築と紛争予防月間

No.2341 No. 24



会長挨拶

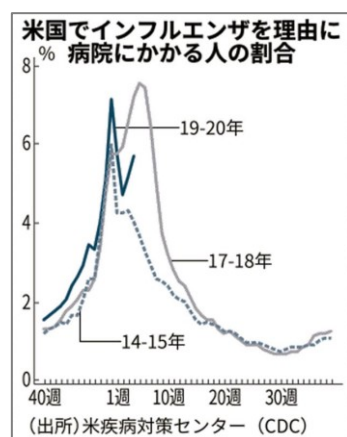
三条南ロータリークラブ
会長

荒澤 威彦

今月は、「ロータリー財団月間」であり、「平和構築と紛争予防月間」でもあります。本日は陸上自衛隊新発田駐屯地より、司令の堀口大助様、西山様、関谷様にお越しいただきました。後ほど卓話をよろしくお願い致します。

計報です。先週2月10日に巻RCの和須津悟会長、そして14日には大谷光夫地区ガバナー夫人のみえ子様が亡くなりました。ご冥福をお祈りいたします。

さて連日の話題は新型コロナウイルスです。すでに中国本土では感染者6万8千人、死者1600人を超えてきました（※2/16現在）。私にはその脅威性は理解できませんが、いまだに治療薬が無いのが大騒ぎなんでしょうか？ ネットでウイルスと検索したら、米国でインフルエンザが猛威を振るっていると出ていました。



記事によれば、「2019～20年のインフルエンザシーズンは患者数が1900万人、死者数は1万人を超えた。

世界で新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されるなか、米国ではインフルエンザが大きな脅威となっている」とあります。（日経電子版2/6）

米国では、インフルエンザのために病院を受診する割合はピーク時で7%ほどとのこと。これは医療保険制度の有無で日本とは大きな違いがあるのだらうと思います。

それにしても、今後、人類が予想できないさまざまな病原菌と闘うような世界が続くのでしょうか？

まずは、東京オリンピック・パラリンピックが無事に開催されることを祈りましょう。

◆本日の出席：47中27名

◆今年度の累計出席率：84.25%

◆本日のゲスト：防衛省陸上自衛隊第30普通科連隊長兼新発田駐屯地司令1等陸佐 堀口大助様 同新発田駐屯地 西山寛様 関谷瞬様

◆先週のメイクアップ：

2/15 ロータリー財団セミナー・資金管理セミナー
銅冶康之 永井篤利

◆幹事報告 石山昌宏副幹事

●巻ロータリークラブより計報

今年度会長 和須津悟（わすづ・さとる）様
2月10日、享年72歳で御逝去されました。
（弔電送付いたしました）

●RI第2560地区本山秀樹地区幹事より計報

大谷光夫地区ガバナー（高田RC）ご令室
大谷みえ子（おおたに・みえこ）様
2月14日、享年70歳で御逝去されました。
（弔電送付いたしました）

●例会の変更についてお知らせ

3月16日例会を、移動例会に変更いたします。
昨年12月にオープンした待望の新施設
三条市体育文化会館の施設見学例会とします。
時間は通常と同じく開会点鐘12:30、
13:30終了です。
3月～4月は例会変更が多くなります。
順次ご案内いたします。

Rotary



ロータリーは
世界をつなぐ

国際ロータリー会長 マーク・ダニエル・マローニー（米国）
第2560地区ガバナー 大谷 光夫（高田）
第4分区分ガバナー補佐 三本 進一（見附）
会長 荒澤 威彦
幹事 長谷川直哉
SAA 名古屋 豊

事務局
〒955-8666 三条市旭町2-5-10
三条信用金庫本店内
TEL 0256-35-3477 FAX 0256-32-7095
E-mail info@sanjo-minami.jp
URL http://www.sanjo-minami.jp

荒澤会長「外は突風です。春一番でしょうか。皆さん飛ばされないようにお気をつけください」
 石山副幹事「本日は長谷川幹事の代行となります。よろしくお願い致します」
 銅冶君「堀口大助様、本日の卓話ありがとうございます」
 佐々木君「堀口大助様、卓話宜しくお願い致します」
 渡邊(久)君「新型コロナ流行のため小旅行中止しました」
 野崎君「新型コロナウイルスなど、注意して参りましょう!!」
 西潟君「新型コロナウイルスについては徹底した手洗いが一番の予防のようです。早い終息を願います」
 田代君「新型コロナウイルスの対応は中国の体質が表れたものでしたが厚労省のクルーズ船の対応にも困ったものです」
 坂井君「BOXに協力します」
 平松君「BOXにご協力ありがとうございました」

卓話

「平和構築と紛争予防月間」

担当：国際奉仕・青少年交換委員会

佐々木常行 委員長



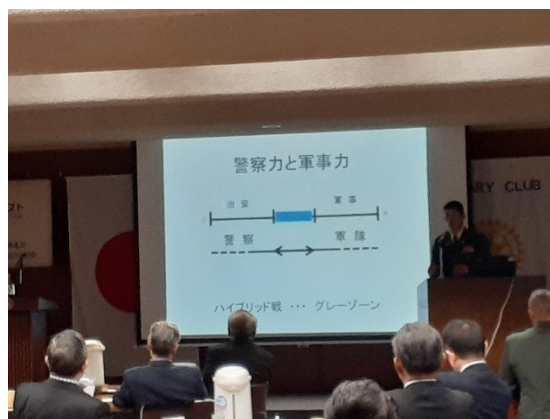
ゲストスピーカー：

防衛省 陸上自衛隊

第30普通科連隊長兼ねて新発田駐屯地司令

1等陸佐 堀口 大助 様

プロフィール	昭和48年 新潟市生まれ
出身校	新潟高校～防衛大学校(41期)
主要略歴	
平成9年	陸上自衛隊入隊
10年3月	第1普通科連隊(練馬)
16年1月	陸上幕僚監部防衛部付(市ヶ谷)
16年1月	同 平和協力隊 UNDOF 司令部(市ヶ谷)
17年3月	陸上幕僚監部防衛部(市ヶ谷)
17年8月	幹部学校(目黒)
19年8月	富士学校(富士)
20年8月	第35普通科連隊中隊長(守山)
22年3月	陸上幕僚監部防衛部(市ヶ谷)
23年8月	陸上自衛隊研究本部(朝霞)
24年3月	防衛大学校付(横須賀)
26年3月	防衛大学校准教授(横須賀)
26年8月	陸上幕僚監部支援情報部付(市ヶ谷)
27年6月	外務事務官(レバノン)
30年3月	陸上自衛隊教育訓練研究本部(目黒)
30年12月	現職



次期R I 会長 2020-21 年度会長テーマ



国際ロータリー会長エレクトであるホルガー・クナーク氏（ドイツ、ヘルツォークトゥム・ラウエンブルク・メルン・ロータリークラブ所属）が、国際協議会で講演し、人生や地域社会を豊かにするためにロータリーが与える機会をとらえるよう呼びかけました。

クナーク会長エレクトは、次期地区ガバナーに向けて2020-21 年度会長テーマ「ロータリーは機会の扉を開く」を発表。ロータリーとは、クラブに入会するだけでなく、「無限の機会への招待」であると述べました。

7月1日に会長に就任するクナーク氏は、奉仕プロジェクトを通じて会員自身や受益者の人生をより豊かにするための道を開くのがロータリーであると力説しました。

「奉仕の行いは、その大小にかかわらず、助けを必要とする人たちのために機会を生み出すものであると、私たちは信じている」とクナーク氏。また、ロータリーはリーダーシップの機会、奉仕のアイデアを実行に移すために世界を旅する機会、そして生涯続く友情の絆を築く機会を与えてくれると述べます。「私たちのあらゆる活動が、どこかで、誰かのために機会の扉を開いています」。

未来のための変革

クナーク氏はさらに、ロータリーの発展のために変革を受け入れるよう会員に強く促しました。会員数を増やすために数字にこだわるのではなく、持続可能な有機的な方法で成長できる方法を考えるよう求め、現会員を維持し、クラブにふさわしい新会員を募ることにクラブが注力すべきであると述べました。

“この機会をとらえてロータリーを成長させ、より強く、適応力を高め、中核的価値観により沿ったロータリーとなるのです”

「新会員を、会員数を増やす人員であるかのように考え、やがて忘れてしまうというのは止める必要があります」と述べたクナーク氏。「どの新会員も、私たちを少しだけ変えてくれます。新しい視野と経験をもたらしてくれます。このような絶え間ない変化を受け入れる必要があります。新会員から学ぶことで、私たちはより強くなります」

ロータリーの行動計画はクラブの進化を導く羅針盤であると指摘したクナーク氏は、全クラブが少なくとも年1回、戦略計画会議を開くことを勧めました。この会議で、5年後にどのようなクラブになりたいかを自問し、クラブが会員により多くの価値をもたらす方法を考えるべきであると話します。

また、リーダー職にもっと多くの女性が就くこと、クラブの結成と運営にローターアクターが不可欠な役割を果たすこと、ロータリー会員であることの意味を考え直すこと、若い人たちに新クラブの設計者になってもらうことを提唱しました。

「新しいアプローチに心を開かなくてはなりません。若い人たちのためにユニークな新クラブをつくることは、解決策の一部にすぎません」とクナーク会長エレクト。「自分たちに一番合うロータリーの体験はどのようなものかを、ローターアクターたち自らに決めてもらおうではありませんか。新クラブの設計者は、若い人たちであるべきです」。

ロータリー会員が変化を受け入れることの必要性を強調した上で、「時間は私たちのためにスローダウンしてくれない」とクナーク氏は訴えます。「私たちは急速な変化に負けません。この機会をとらえてロータリーを成長させ、より強く、適応力を高め、中核的価値観により沿ったロータリーとなるのです」。

(My Rotary より <https://www.rotary.org/en/node/6644>)

3月のお祝い

✧ 会員誕生

齋藤嘉一君

✧ 配偶者誕生

田代徳太郎君

田中陽子康之君

平松修之君

広岡豊樹君

西巻克郎君

✧ 結婚記念

長谷美津明君

広岡豊樹君

木村 譲君

渡邊光郎君



おめでとうございます